安心 快適 クリーン LPガスの正しい使い方

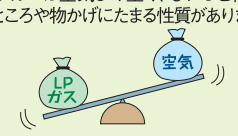
① 災害に強いLPガス

近年、各地で地震などの大規模な災害が続いています。どの被災地においてもライフラインの早期復旧が課題となりました。LPガスは避難所などですばやく対応できることや、復旧の早さにおいて優位となり、多くの人々の暮らしに安心をもたらしました。その実績からさまざまなところで、LPガスは「災害に強い」ことが実証されています。

② LPガスの性質

空気よりも重い。

LPガスは空気より重く、もれると低いところや物かげにたまる性質があります。



ニオイがつけてあります。

LPガスは無色無臭で、万が一、もれたときにわかるように、タマネギが腐ったようなニオイがつけてあります。

燃焼にはたくさんの空気が必要です。

LPガスが燃焼するためにはたくさんの空気が必要です。

クリーンなガスです。

LPガスには人体に有害な一酸化炭素（CO）は含まれていません。

- ただし、換気不足などで不完全燃焼を起こすとCOを発生します。
- LPガスを、大量に吸い込むと意識を失ったり、窒息することもあります。

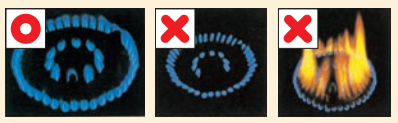
液化した状態で容器に入っています。

LPガスは圧力をかけて液化した状態で容器に入っています。

- 容器が温められると、圧力が上がりますので近くでたき火などしないでください。
- 液体のLPガスが皮膚に触れると凍傷になるおそれがあります。

③ いつも青い炎でお使いください。

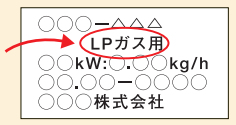
LPガスをお使いのときは、必ず「青い炎」でお使いください。赤っぽい炎は、不完全燃焼をしている炎です。



④ ガス器具は必ずLPガス用の器具をお使いください。

新しくガス機器をご使用の際には、LPガス専用の機器であることを確認してください。

※LPガス用機器には右のような表示があります。

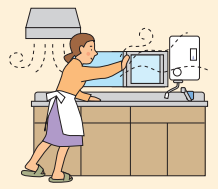


製造会社の銘板例

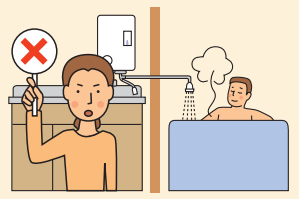
⑤ 換気はしっかり忘れずに！

室内でガス器具を使用するときは換気扇を回したり、ときどき窓を開けるなど換気を行ってください。

- 換気が不十分な状態で使い続けると不完全燃焼による一酸化炭素（CO）中毒が起こる恐れがあり、死亡事故に至る場合があります。

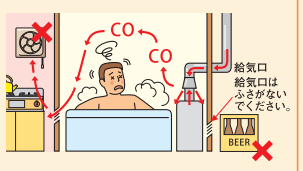


- 小型湯沸器をお風呂やシャワーに使用しないでください。



自然排気式のふろがまをご使用の方に

- 右のような自然排気式（煙突の付いたもの）のふろがまを使用するときは、換気扇を使用しないでください。（気圧の変化により排ガスが逆流して一酸化炭素（CO）中毒を起こすことがあります。
- 排気筒がこわれていたり、鳥の巣などでふさがれてしまうと適切な排気ができなくなります。こまめに点検しましょう。



⑥ 屋内に設置されたガス瞬間湯沸器の再点火操作に関する注意

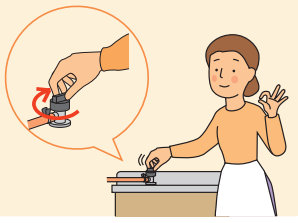
- 湯沸器を使用中に火が消えた時は、一酸化炭素が発生している可能性があります。
- 使用中に火が消えたら、再点火しないでただちに使用を中止し、下記の販売店又は保安機関に連絡してください。

⑦ 点火・消火は必ず目で確認を！

- ガス器具のそばには、燃えやすい物を置かないでください。
- マッチで点火する場合には、必ずマッチに点火後器具栓を開いてください。
- 風や煮こぼれで火が消えたり、天ぷらを揚げるときなど、過熱により鍋の油に火がつくことがあります。その場を離れないでください。

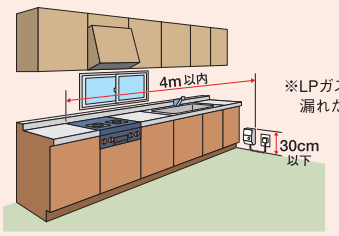
⑧ ガス栓は、使用時には全開で、使用後は完全に閉じてください。

- LPガスをお使いになるときは、ガス栓を全開で、また外出するときやおやすみ前には、ガス栓、器具栓が閉まっていることを確認してください。
- 使用していないガス栓には、必ずゴムキャップをつけてください。
- 長期間ご不在になるときは、容器バルブを閉め、LPガス販売店にご連絡ください。
- 配管やガス栓をアースの代わりに使用しないでください。



⑨ ガス漏れ警報器は正しく設置されていますか?

- 床から高さ30cm以下で、燃焼器具・ガス栓から水平距離で4m以内の所に取り付けてありますか？ ー確認しましょう。

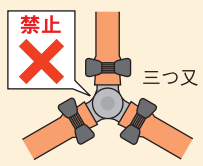


※LPガスの性質：臭いがあり空気より重く、漏れたガスは下に溜まります。

- 警報器の電源プラグは常時コンセントに差し込んでおいてください。
- 警報器の周りに物を置かないでください。
- 取り付けてある警報器は交換期限内のものですか？ ー確認しましょう。

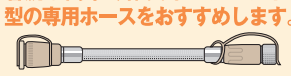
⑩ ゴム管はときどき点検し、早めに交換してください。

- ゴム管は、ガス栓の赤い線のところまで差し込んで、ホースバンドでしっかりとめてください。
- ゴム管は長くしたり、物かげを通したり、折り曲げたりしないでください。
- 三つ又は保安上危険なので、使用しないでください。
- ひび割れなどが発生しているゴム管は使用しないでください。



※ゴム管からのガスもれは、石けん水を塗り泡が出るかで分かります。（泡が出た場合はすぐにゴム管を交換してください。）また点検後はきれいに拭き取ってください。

着脱が簡単で確実なコンセント型の専用ホースをおすすめします。



ガスもれ防止のため、湯沸器や風呂釜などの固定式燃焼器とガス栓の接続にゴム管を使用することは禁止されています。直接ねじ接続するか、下のようなねじ接続の専用ホースで接続してください。

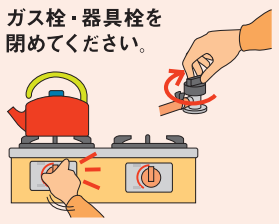
⑪ もしもガスがもれたら！

ガスのニオイに気づいたとき・ガスもれ警報器が鳴ったときは

室内の火は全部消してください。

※マッチをすったり、タバコを吸ったりしないでください。

ガス栓・器具栓を閉めてください。



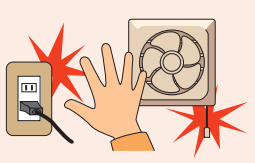
扉や窓を十分に開けてください。

風通しを良くしてガスを屋外へ追い出してください。

※ほうきなどでもれた、滞留したガスを掃き出すようにして屋外へ追い出してください。

コンセントやスイッチに触れないでください。

火花が出てガスに着火するおそれがあります。



※換気扇は回さないでください。回っている換気扇はそのままにしてください。

LPガス販売店または保安機関に連絡してください。

点検を受けるまでLPガスを使わないでください。

⑫ ガス器具のお手入れ

ガスコンロなどの目詰まりは、炎が不安定となりますのでときどき器具ブラシなどで掃除をしてください。

お願い！

ガス器具のお手入れなどで、ネジなどを取りはずす必要がある場合は、自らお手入れせずに、必ずLPガス販売店へご連絡ください。

⑬ 地震の時はあわてずに！

落ち着いた行動が火災などの二次災害を防ぎます。地震が起きたら、あわてずに次の行動をお願いします。

- 地震がおさまってから、ガス機器の器具栓を閉め、ガス栓も閉めてください。
- ガス漏れに気づいたら、すぐ窓や戸を開けて、ガス事業者に連絡し、屋外に避難してください。この時、火気や電気は絶対に使用しないでください。

⑭ マイコンメータがガスを遮断した後、自分でできる復帰方法

1. ガス栓・器具栓をすべて閉じる。
2. 復帰ボタンを押して、すぐ離す。そして、1〜2分間待つ。 ※キャップのあるタイプもあります。

※ガスもれがないかどうかを、マイコンメータが1〜2分間、安全確認をしています。異常がなければ、ランプ（または液晶）の点滅が消え、ガスが使えるようになります。正常にガスが使えない場合は、ガス事業者へご連絡ください。（なお、復帰ボタンの位置および操作手順については、機種により若干異なりますので不明なときはお問い合わせください。）

⑮ こんなときはガス事業者へご連絡ください。

- LPガス設備の工事や新しくガス器具を取り付けるとき、または取り外すとき。
- ガス以外の工事（家の増築など）を行うとき。
- 新築・改築・転居などで新しくガスを使用するとき、または使用をやめるとき。
- ストーブなどの季節的器具で、取り付け・取り外しが困難なとき。
- 旅行や出張などで長期間留守にするとき。

※配管・風呂釜・大型給湯器、排気筒などの取り付け・取り外しには、法律上の資格が必要です。

氏名・住所・状況をご連絡ください。

⑯ ご近所でこんな工事を見かけたら、ぜひお知らせください。

工事がガス漏れの原因となることも…

道路工事　建設工事　解体工事

- 掘りおこし、埋め戻し、その他工事の内容によって、埋設してあるガス管をいためたり、異常な重みでガス管が破損してしまう場合があります。
- ガス漏れは、周辺の多数の方々に大変なご迷惑とご不便をおかけすることになります。

Telephone List

Name
Tel
Name
Tel
Name
Tel
Name
Tel
Name
Tel
Name
Tel
Name
Tel
Name
Tel
Name
Tel